

登録コード	E2911900	開講年度	2026	県内大学開放授業				
授業科目	英語文学Ⅰ					担当教員	金子 史彦	
英文授業名	English Literature 1					副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・1時限		対象学生	2～4年生
講義室	教育N 3 0 1 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔	・英語文学を学ぶことにより、教員としての公共的使命感や倫理観を身に付ける。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔	・文学作品において使用されている様々な英語表現、文学作品で描かれている英語が使われている国や地域の文化、英語で書かれた代表的な文学について理解し、英語教育に活かすことができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	F.スコット・フィッツジェラルドの『偉大なるギャツビー』を原書で読む。各回別のテーマを与え、解釈のポイントとなる箇所を指示してそれについて考えたり、学生自身がそういった箇所を探したりする。そして解釈する上で有効となる批評理論、文化的背景となる知識を学び、より深い読みに到達し、リーディング指導に役立つようにする。							
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス、1920年代のアメリカ 第 2 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.1-3)，第一人称語 第 3 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.3-12)，ブキヤナン家訪問 第 4 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.12-23)，ギャツビーと緑の灯 第 5 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.24-40)，トムの愛人 第 6 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.41-63)，時間軸の再確認 第 7 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.64-85)，ギャツビーの謎 第 8 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.86-102，ギャツビーとデイジーの再会 第 9 回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.103-118)，ギャツビーの半生 第10回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.119-132)，山場の幕開け 第11回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.132-155)，対決、そして事件 第12回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.156-172)，ギャツビーの夢の結末 第13回：The Great Gatsby（『偉大なるギャツビー』）講読(p.173-192)，ギャツビーの夢とアメリカの夢 第14回：文学理論、特に二項対立の観点からThe Great Gatsby を(『偉大なるギャツビー』)を解釈する最後の15分間で授業アンケートを実施する 教育実習による欠席分については補講を行う。							
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業のねらい①、②の到達度を測るために内容理解力，読む力を図る期末レポート 100% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	・期末レポート - (i)テーマ選びが適切であり、(ii)そのテーマを選んだ理由がよく説明できており、(iii)内容がよく分析されており、(iv)自分の意見がはっきり述べられており、(v)その上で全体が上手くまとめられており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i)から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。							
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業内容の欄に、テキスト及で予習しておくべき箇所を指定する。そして電子ファイルでその箇所の理解の助けとなるワークシートを配布する。読みながらそのワークシートを仕上げるのが予習となる。しっかりと予習をしてから授業に臨むこと。 この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。							
(9)履修上の注意	対面授業。 予習として指定された範囲をしっかりと読み、ワークシートを仕上げて授業に臨むこと。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	N229，内線4193，E-Mail: kanekof@shinshu-u.ac.jp，オフィスアワー火曜日2限、及び金曜日2限、その他予約で対応							
【教科書】	F. Scott Fitzgerald著 The Great Gatsby Penguin							
【参考文献】	指定しない							